

地誌を極める！ オーストラリア編

ウォーミングアップ！

●オーストラリアの地形・鉱物資源

図1

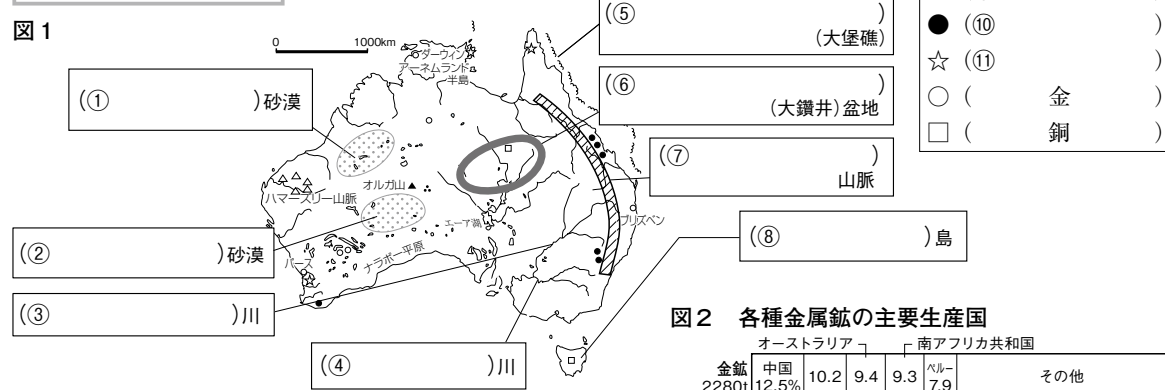


図2 各種金属鉱物の主要生産国

金鉱 2280t	オーストラリア	中国	南アフリカ共和国	アメリカ合衆国	ジャマイカ	その他
	12.5%	10.2	9.4	9.3	7.9	
鉄鉱石 10.5億t	ブラジル	中国	オーストラリア	インド	その他	
	22.3%	22.2	17.7	11.0	5.8	
ボーキサイト 2.05億t	オーストラリア	中国	ブラジル	インド	ロシア	その他
	29.9%	17.1	10.7	10.3	9.0	6.8
マンガン鉱 1260万t	南アフリカ共和国	オーストラリア	中国	ブラジル	その他	
	20.6%	20.2	15.9	11.8	7.4	

図4

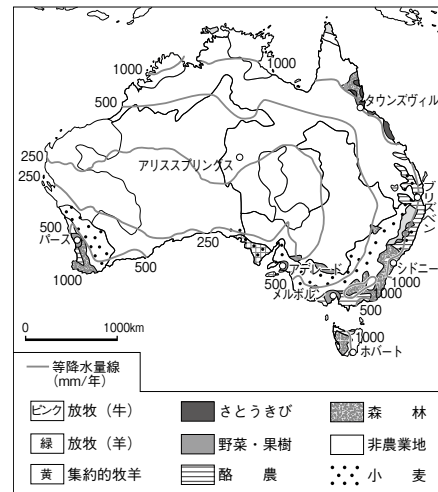


図5

生産(2008)	イギリス	2.8	ロシア	2.4	世界計	1314.7千t
羊毛	オーストラリア	21.2%	中国	18.0	イラン	3.4
					アルゼンチン	2.7
					その他	39.4

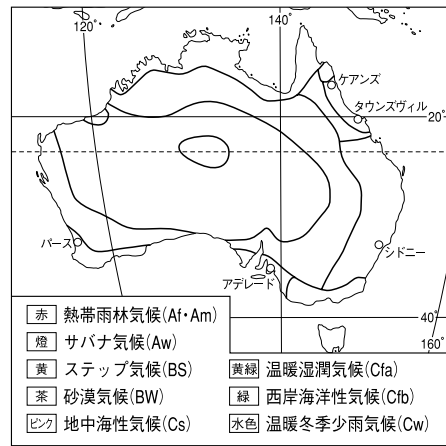
図6

輸出(2007)	アメリカ合衆国	6.7	世界計	6529千t		
牛肉	ブラジル	19.7%	オーストラリア	15.2	その他	52.8
					アイルランド	5.6

- 図1の①～⑧には地形名を、⑨～⑪には鉱物名を書き入れよう。
 東部高地は、古期造山帯であり、(12)が多く埋蔵している。一方、西部台地には、(13)が多い。
- 図2を見て、オーストラリアが世界のなかで、次の生産高をもつ鉱物名を⑭～⑰に書いてみよう。
 世界第1位 (14))
 世界第2位 (15))
 世界第3位 (16)) (17))

●降水量の分布と気候区、農業地域

図3



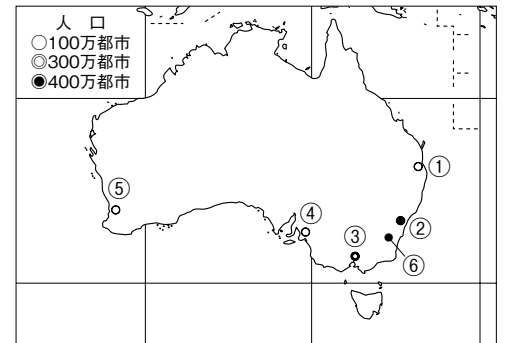
- 図3で、気候帯を指定された色でぬり確認しよう。
- 図4で、降水量500mm(灌漑なしで農耕可能)の線を青でぬり、農業地域を指定された色でぬり確認しよう。
- 図5で、世界一の生産高をもつ羊毛のオーストラリアの割合を赤でぬろう。
- 図6で、世界の牛肉の輸出量におけるオーストラリアの割合を赤でぬろう。

年 組 番 名前

ステップアップ！

●降水量や気候と人口分布との関係

図7



7. オーストラリアは、港に近く、気候のよい沿岸の5都市に人口の60%が分布している。①～⑤の都市名を書き入れよう。さらに⑥に首都名を書き入れよう。
- ① () ② ()
 ③ () ④ ()
 ⑤ ()
 ⑥ () (首都、人口約32万)

●オーストラリアの歴史：白豪主義から多文化主義へ

8. 次の年表のa～eに、あてはまる用語を書き入れ、①～⑦には国名を下から一つ選んで書き入れよう。

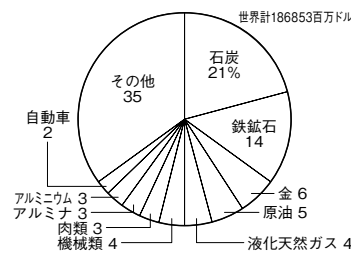
今から5～6万年前	先住民(a)がアジアから移住
1770年	(①)のキャプテン・クックが東海岸に上陸 ニューサウスウェールズと命名して領有宣言
1788年	イギリス人船団到着 初代植民地総督が、流刑囚を使い植民地社会建設 この際、羊をもちこむが、繁殖せず。9年後繁殖成功
1820年代	羊毛用メリノ種、大量繁殖し、牧羊地域西方への拡大
1830年代後半～	(②)人やインド人が安い労働力として導入される
1840年	流刑囚輸送停止
1851年	金が発見され(b)始まる 世界中から採掘現場に人々がかける
1901年	6植民地で(c)連邦成立 移民制限法成立→(d)主義の確立 ヨーロッパ系の白人住民中心のオーストラリアをめざす
1914～1918年	第一次世界大戦 連合軍側で参戦
1935～1945年	第二次世界大戦 仏・英・米の連合国と共に独・伊・日と戦う
1945年	第二次世界大戦後 労働力確保のため大量移民受け入れ政策
1950年代	従来の(③)人や(④)人に加え(⑤)、ギリシャ など非英語圏からの移民増加
1960年代	(a)の権利拡大、同化主義政策廃止
1960年代後半	(⑥)、レバノンなど西アジアから、インド、(⑦)など イギリス連邦からの移民増加
1970年代	(⑦)からの難民受け入れ
1975年	人種差別禁止法制定=(d)主義公式撤廃 文化の多様性を認める(e)主義をとる
近年	移住者数大幅減少、移住者の半数はアジア系

ベトナム アイルランド パキスタン 中国 イギリス トルコ イタリア

ジャンプアップ!

●貿易：オーストラリアの輸出品目

図8 品目別輸出額の割合(2008年)

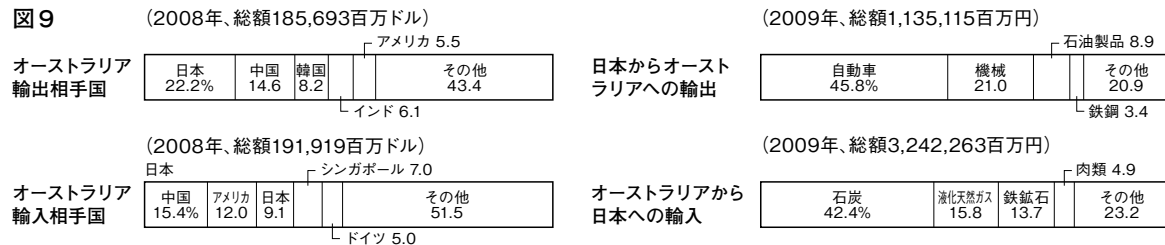


9. 図8を見て、①、②にあてはまる数値を書き入れよう。

輸出品は、一次産品の割合が大きく、減少はしているものの①(約 %)をしめる。工業製品は1990年代以降増加が見られるが2007年で機械類と自動車をあわせ②(約 %)をしめる。

●オーストラリアと日本の貿易における関係

10. 図9を見て、下の文の①～⑩にあてはまる語句を書き入れよう(ただし、③④⑤は国名である)。



オーストラリアにとって、日本は、輸出先では第①位、輸入先でも第②位をしめる重要な国である。少し前まで日本は輸入先で第2位であったが、現在③が第1位となっていて、第2位は④である。貿易総額でも③がトップにたつ。今後オーストラリアと③との関係はさらに強まると予想できる。なお、1960年代までは、最大の貿易相手国は、旧宗主国の⑤であったが、その後アジア・環太平洋地域との貿易が盛んになった。

日本にとっても、オーストラリアは、総額で、③、④、韓国につぐ第4位の貿易相手国である。その品目の内訳は上図のとおりである。つまり、輸入では、42%をしめる⑥を筆頭に、⑦⑧といった鉱物資源がつづく。輸出では、46%をしめる⑨に加え、⑩が21%となっている。資源のない日本の経済発展にとって、⑥や⑧などオーストラリアの地下資源は不可欠なものである。また、工業製品の市場としてもオーストラリアは重要である。なお、輸入では肉類も多い。

●貿易以外の関係：日本語熱と人的交流

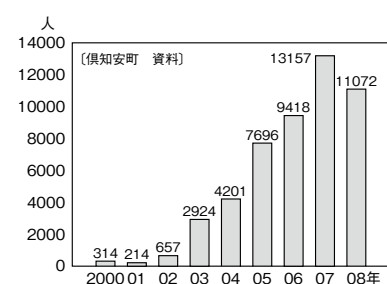
表1 オーストラリアへの年間旅行者数(2010/12年度)

11. 表1と図10を見て、下の文の①～③にあてはまる語句を書き入れよう。

表1の観光客数を見ると、オーストラリアへの日本人の観光客数は、旧宗主国のイギリスや、アメリカを抑え、隣国ニュージーランドにつき第①位である。若者が最長で1年間働きながら滞在できる②という制度や、留学先としても人気が高い。近年話題になっているのが、日本へのオーストラリア人観光客の増加である。図10のように2001年アメリカで起きた同時多発テロ事件以降、北海道、とくに③町を訪れるオーストラリア人スキー客が増加している。

国名	人数(人)
ニュージーランド	787,700
日本	659,200
イギリス	627,100
アメリカ合衆国	424,400

図10 倶知安町に宿泊したオーストラリア人の推移



●日本とオーストラリアの交流史

12. 下の文の①～③にあてはまる語句を書き入れよう。

1860年代末 トレス海峡サーズデー(木曜)島に真珠貝採取のため日本人ダイバー居住
 1940年代 ① 戦争で日本とオーストラリアは敵対し双方に犠牲者多数
 1957年 ② でオーストラリアと日本の貿易が本格的に開始
 1989年 オーストラリアが日本などにびかけAPEC ③ 結成

アジア太平洋経済協力会議 日豪通商協定 太平洋 移民制限法

解 答

ウォーミングアップ!

●オーストラリアの地形・鉱物資源

- ① (グレートサンディー) ② (グレートヴィクトリア) ③ (ダーリング)
 ④ (マリー) ⑤ (グレートバリアリーフ) ⑥ (グレートアーテジアン)
 ⑦ (グレートディヴァイディング) ⑧ (タスマニア)
- ⑨ (鉄鉱石) ⑩ (石炭) ⑪ (ボーキサイト) ⑫ (石炭)
 ⑬ (鉄鉱石) ⑭ (ボーキサイト) ⑮ (マンガン) ⑯ (金)
 ⑰ (鉄鉱石) ⑱と⑲は順不同。

●降水量の分布と気候区、農業地域

- 解答 略
- 解答 略
- 解答 略
- 解答 略

ステップアップ!

●降水量や気候と人口分布の関係

- ① (ブリズベン) ② (シドニー) ③ (メルボルン)
 ④ (アデレード) ⑤ (パース) ⑥ (キャンベラ)

●オーストラリアの歴史：白豪主義から多文化主義へ

- a (アボリジニー) b (ゴールドラッシュ) c (オーストラリア)
 d (白豪) e (多文化)
 ① (イギリス) ② (中国) ③ (アイルランド) ④ (イタリア)
 ⑤ (トルコ) ⑥ (パキスタン) ⑦ (ベトナム)

ジャンプアップ!

●貿易：オーストラリアの輸出品目

- ① (53) ② (6)

●オーストラリアと日本の貿易における関係

- ① (1) ② (3) ③ (中国)
 ④ (アメリカ合衆国) ⑤ (イギリス) ⑥ (石炭) ⑦ (液化天然ガス)
 ⑧ (鉄鉱石) ⑨ (自動車) ⑩ (機械類)

●貿易以外の関係：日本語熱と人的交流

- ① (2) ② (ワーキングホリデー) ③ (倶知安)

●日本とオーストラリア交流史

- ① (太平洋) ② (日豪通商協定) ③ (アジア太平洋経済協力会議)